



目指せ！自分だけの金メダル！ ～金メダリストから学ぶ～

7月20日から始まった33日間の夏休み、充実した日々を過ごすことができましたか。学校で行った進学補習をはじめ学習面での課題克服のために取り組んだ人、県予選を勝ち抜き全国の舞台で戦ってきた人、新人大会等に向けて自分の課題、チームの課題の克服のために取り組んだ人、新しい自分を見つけるために本物に触れてきた人もいることでしょう。皆それぞれ、目標をもって取り組んだことと思います。

今年の夏休み期間中には、“花の都”パリで4年に一度のスポーツの祭典、オリンピック競技大会が32競技329種目で開催され、日本からは409人の選手が出場しました。パリと日本の時差が7時間ということもあり、目当ての選手を応援するために夜更かし？早起き？をした人もいるのではないのでしょうか。

そんなオリンピック競技大会は、競技スポーツに取り組んでいる人にとっては“憧れの夢舞台”であることは言うまでもありません。そのオリンピックに出場するだけでなく、更にその上の金メダルを獲る、世界一になるというのは、並大抵の努力では達成できないということは、想像に難くないことでしょう。今回のパリ五輪で日本は20個の金メダルを獲得することができ、連日、新聞を大きく賑わせてくれました。ここで金メダルを獲得した選手の優勝後のインタビューの一部を紹介します。

○体操 男子種目別鉄棒 岡 慎之助

「団体と個人で金メダルの獲得を目指して練習してきたので、その練習の成果が繋がってうれしい。」

○レスリング 男子フリースタイル57kg級 樋口 黎

「応援してくれた方々がいてくれたおかげの金メダル。僕一人で獲れた金メダルではない。」

○柔道 男子81kg級 永瀬 貴規

「悔いだけは残らないように、自分を信じて気持ちを前面に出して戦うことを意識したので、それが結果に繋がったのかと思います。」

○レイキン 女子個人 湯浅 亜実

「決勝は楽しもうと思ってやりました。」

他の選手たちも素晴らしいコメントを残してくれていますが、太字下線の部分は、どの分野でも共通することではと思ったのでこの4選手のコメントを取り上げさせていただきました。「目標を立てたり、目指すと口にするだけではなく努力を惜しまない。」「自分の努力だけでなく他の人の支えがあってこそと思う気持ち」、「悔いを残さない」、「気持ちを前面に出す」、そして「楽しむ」。

様々な行事が盛りだくさんな2学期、そして、3年生はいよいよ受験シーズン突入しますが、自分だけの“金メダル”を獲得できるよう勉強に、部活動に、そして、学校行事に取り組んでください。

「巨大地震注意」発表 ～備えあれば憂いなし～

8月8日（木）16時43分、宮崎県沖の日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、同日、気象庁は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました【8/15 17時に呼びかけ終了】。テレビなどでは、「一週間程度」や「地震の発生が相対的に高まっている」とのワードが飛び交い、また、スーパーマーケットやホームセンターから水がなくなり、ガソリンスタンドは長蛇の列ということが起こりました。5月に実施した地震火災避難でも、今後30年以内に南海トラフを震源としたマグニチュード8～9クラスの巨大地震が発生する確率が70～80%という話をしました。それが10年後か、30年後か、それとも明日か。いつ地震が発生するかは誰にもわかりませんが、いつか巨大地震が発生するということは分かっています。いつ発生してもいいように、避難経路や方法、備蓄物資などについて確認しておくようにしてください。